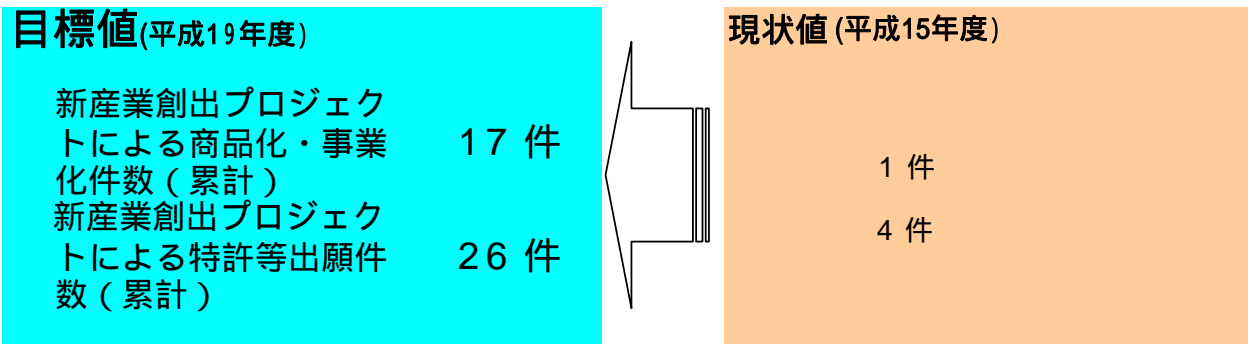


施策 (- 1 - 1) **新産業創出** **優先施策16**

目的

競争力のある裾野の広い、ものづくり産業群を形成するため、県が自ら牽引役となって新技術・新材料の開発に取り組み、県内企業への技術移転やその事業化をめざします。

成果指標と目標値



目標値は、現在県自ら取り組んでいる新産業創出プロジェクトにより見込まれる商品化・事業化件数と特許、意匠、商標の出願件数を設定しました。

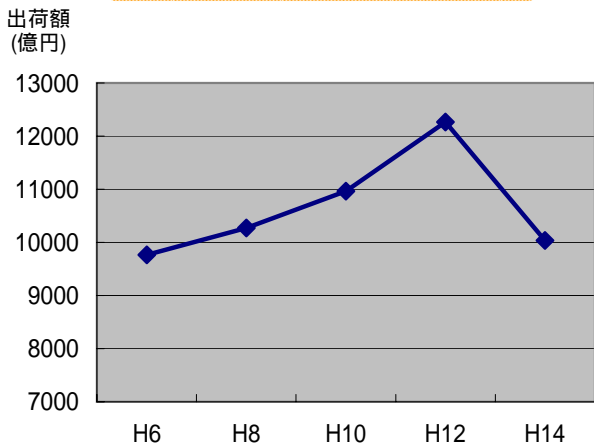
現状と課題

国内景気の低迷や海外への生産拠点の移転など、島根県の製造業を取り巻く情勢は大変厳しく、製造品出荷額、事業所数、従業者数ともに減少しています。(図表1・2参照)

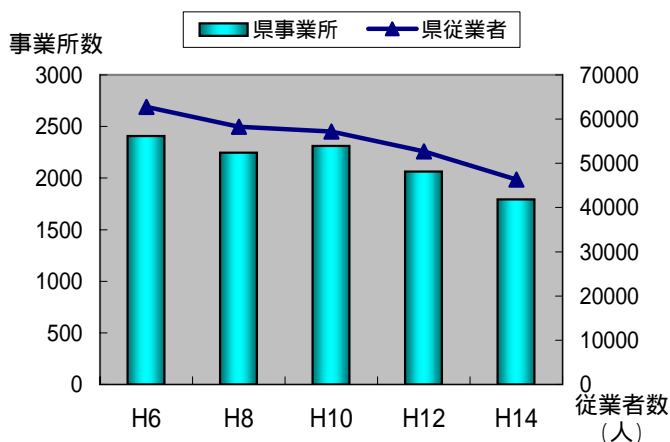
こうした中で本県の持続的な経済発展と雇用の確保を図るためには、本県独自の技術・素材等を基盤とする裾野の広い新たなものづくり産業群の形成をめざす必要があります。

このため、県自ら牽引役として、産学官連携体制のもとで新しい技術開発や研究開発に取り組み、新たに開発した技術を県内企業に移転し事業化につなげるなど、県が中心となって新産業の創出に取り組んでいきます。

図表1 製造品出荷額の推移



図表2 製造業事業所数・従業者数の推移



資料: 経済産業省「平成14年工業統計調査」

目的を達成するための主な基本事務事業

主な事務事業

事業名	概要
<p>新産業創出プロジェクト</p> <p>〔担当課〕産業振興課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>本県の持続的な経済発展や雇用創出の基盤を形成するために、本県独自の材料等を開発し、競争力のある、裾野の広い、ものづくり産業群を創出します。具体的には「新産業創出戦略会議」のもとで次の5つのプロジェクトを推進します。</p> <p>新産業創出推進事業</p> <p>「新機能材料開発プロジェクト」 電子機器等に用いる高熱伝導材料の研究開発を行い、県内での事業化とその拡大を図ります。</p> <p>「新エネルギー応用製品開発プロジェクト」 色素増感太陽電池とその応用製品の研究開発を行い、県内での事業化とその拡大を図ります。</p> <p>「健康食品産業創出プロジェクト」 企業と連携し、本県の農林水産産物を使った機能性食品の研究開発を行うとともに、企業が主体的に取り組む商品開発や販路開拓を支援し、島根産健康食品の全国展開を図ります。</p> <p>「プラズマ利用技術開発プロジェクト」 これまでの産学官連携により共同研究開発した技術蓄積に基づき、プラズマ利用技術の実用化を目指した研究開発を行い、県内での事業化とその拡大を図ります。</p> <p>「バーチャルリアリティ技術開発プロジェクト」 産業技術センターで開発したバーチャルリアリティ技術を発展させ、県内でのハード、ソフトの生産をめざします。</p>

新産業創出・産業競争力強化プロジェクトの概要

長期目標 (平成24年度)

製造品出荷額1千億円増
5千人規模の雇用創出

● **新産業創出プロジェクト**

県自らが牽引役となり本県独自の新しい「材料」「技術」を開発
県内で応用製品の製造を図り裾野の広い産業群の形成を目指す

● **産業競争力強化プロジェクト**

既存企業の技術力、経営力、販売力の強化を図る
電気・機械・金属工業(出荷額2/3, 従業者数1/2)を重点業種

新産業創出戦略会議のもとで推進するプロジェクト

- ・新機能材料開発PJ
- ・新エネルギー応用製品開発PJ
- ・健康食品産業形成PJ
- ・プラズマ利用技術開発PJ
- ・バーチャルリアリティ技術開発PJ

産学連携技術力強化支援

販売力強化支援

受け皿

既存企業

経営力強化支援

地域支援体制構築

